

第3・4学年 総合的な学習の時間 学習指導案

平成21年11月24日5校時

1, 単元名 大好き島根 ～守ろう！豊かな自然環境～

2, 単元の目標

- 自分たちの生活環境の課題に気づき、環境を守るくふうを考えようとする。
- 環境についてのさまざまな課題や取り組みを、本・パンフレット・新聞・人的資料・インターネット等を使って調べ、要点を情報カードに書くことができる。
- 調べたことを新聞にまとめ、環境を守ることの意義や価値を考えることができる。

3, この単元で育てたい情報活用能力

「調べ学習の基礎となる学習の進め方」

- ① つかむ 「テーマ見つけチャート」をもとに、自分の課題を見つける。
- ② 調べる いろいろな資料を使って情報を集め、情報カードに書く。
- ③ まとめる 情報を整理し、新聞にまとめる。
- ④ 伝え合う 情報を伝え合い、環境を守ることの大切さに気づく。

4, 単元設定の理由

(教材観)

環境については、今までに、①～⑥のような学習をしている。

- ①1学期 総合的な学習「統計グラフづくり」
 - ・ゴミについて(4名) 児童・保護者のアンケート調査、学校のゴミ調べ
 - ・リサイクルについて(3名) 児童・保護者のアンケート調査
- ②2学期 社会科「わたしたちのくらしとゴミ」
 - ・北九州市のゴミの処理とリサイクルについて
 - ・大田市のゴミの処理とリサイクルについて、見学学習
- ③2学期 国語科「ウミガメのはまを守る」環境を守るくふう
- ④行事 クリーン活動(毎年)
- ⑤委員会 運営委員会 電気について
給食委員会 牛乳パックのリサイクル
健康委員会 水について
図書委員会 ブックカバーのリサイクル(しおりづくり)
- ⑥夏休み もったいない生活日記(3年間)

子ども達は、これまでの学習や経験を通して、環境が大切だということを理解している。しかし、自分の問題として深く考え、行動することはあまりできていない。地球温暖化についても、原因や影響、防ぐ方法については全員の子供が知っているが、影響があるのは外国だと思い、自分たちの生活に直接かわりがあると思っていない。子どもはなかった。今までの体験をもとにして、主体的な行動に結びつけるためには、なぜ「環境を守るくふう」が必要なのかを理解し、課題意識を持って自分で考えることが大切である。そこで、本単元を設定した。

(児童観)

本学級は、3年生6名、4年生5名の複式学級である。落ち着いて学習に取り組むことができる。言われたことはまじめに取り組もうとするが、じっくり読んで内容を読み取ることや、自分の言葉で表現する力は十分育っているとはいえない。

学校図書館教育については、読み聞かせが好きで、楽しんで内容を聞き取ることができる。「ファール昆虫記」「チョコレート戦争」「世界の昔話」などの読み聞かせをしてきた。1学期に国語辞典の使い方を学習し、どの教科でもわからない言葉があれば、国語辞典で調べて付箋を貼るようにしている。また、社会科では、毎時間地図帳を使って調べるようにしており、休み時間などに国語辞典や地図帳を開いて読んだり、クイズを作って遊んだりする姿も見られ、調べる楽しさを少しずつ感じているようである。1学期は読書ノートを使い、「へちま」「昆虫の体のつくり」について、百科事典などの図書資料を調べて抜き書きをしたり、要点をまとめたりする学習をした。インターネットについては、4年生の4人が、だいたいの操作ができると答えている。

本単元で、「島根のどんなことが好き？」という質問をしたところ、「出雲大社や神話があり、神様のいるところが好き。」と答えた子どもが2名、「世界遺産の石見銀山があるところが好き。」と答えた子どもが1名、「海がきれい。」「空気がきれい。」「生き物がたくさんいる。」「新鮮な食べ物がたくさんある。」「山や木がたくさんある。」「田んぼや畑がたくさんある。」など、自然環境について答えた子どもが7名であった。問題点について話し合ったところ、生き物についての意見が多く出された。特に、11名全員の家庭で畑があり、9名の家庭では田で米作りをしているため、富山でも被害がある外来生物、ヌートリアについては、実際に見たり、家族から話を聞いたりしているため、具体的な意見を話す子どもが多かった。

(指導観)

中学年は、情報活用能力の基礎となる「学習の進め方」を学ぶ段階である。そこで、自分の力で資料を読んで「調べてわかる楽しさ」を多く体験させたいと考えている。

本単元では、本だけでなく、いろいろな情報メディアを使うことによって、情報収集の方法を学ばせたい。本による調べ学習を大切にしながら複数の方法で調べることは、本の内容を補ったり、比較・検討したりすることができ、確かな調べ学習につながると考える。

その際、子ども達に「調べてわかる楽しさ」を体験させるためには、資料の収集と整理が不可欠である。公立図書館からの本の借り入れ、新聞・パンフレット類の整理、人的資料の選定と依頼、おすすめホームページの選定等を学校図書館ボランティアやメディア主任と連携しながら行っていく。3年生はインターネットを使って調べるのが初めての子どもも多いので、4年生と2人組で安心して取り組めるようにしたい。

第1次では、課題づくりを全員で行う。自分が何を調べたいのかを明確にすることは、非常に重要である。「島根のどんなことが好きか」「島根の良さを大切にすることで、どんな問題があるか」「どんな活動が行われているのか」という視点で全員で意見を出し合い、『テーマ見つけチャート』を作成する。全員で作った『テーマ見つけチャート』をもとに自分が興味があり、調べてみたい課題を文章にする。文章にして、課題の中に含まれるより小さなテーマに絞り込むことで、自分の調べる課題が明確になり、より詳しく自分なりの調べ学習ができると考える。公立図書館等と連携して、それぞれの課題について各自で調べ学習ができるように資料をそろえておく。

第2次では、実際に複数のメディアを使って各自が調べ学習を進めていく。子どもにとって、複数のメディアを自分で選んで調べるのは初めてなので、課題によってメディアを使い分けられるようにメディアの特性についてふれておく。調べる手順としては、まず、もっとも信頼できる情報として本を読み、その後で、ほかのメディアを利用するように指導する。メディア主任や学校図書館ボランティアと協力して、課題ごとにパスファインダーを作成しておき、それをもとにして自分の課題について適切な資料を選べるようにする。個別の資料リストや支援計画をもとに、学校図書館ボランティアと共に支援をする。インターネットを使って調べる場合、パソコンの操作に十分慣れている子どもは少ないため、メディア主任が支援する。

調べた内容は、情報カードに要点をまとめておく。情報カードは、本で調べた情報は白、インターネットで調べた情報は水色、その他（パンフレット、新聞、人的資料、ビデオ等）で調べたものは黄色で色分けすることによって、調べる方法がいろいろあることを意識させると共に、第3次のまとめの参考となるようにする。また、情報カードを使うことによって、資料をしっかりと読んで、要点を分かりやすくまとめる力を伸ばしていきたいと考えている。カードの利用とあわせて、著作権や「引用」「出典」の記入についても指導する。資料の漢字が読めない場合があるので、学校図書館ボランティアと共に支援を行う。言葉の意味については、すぐに調べられるように各自国語辞典を準備しておき、自分が理解できる言葉で情報カードを書くように指導する。また、数値を入れることで、内容が具体的にイメージできることを知らせ、情報カードをまとめるときの参考にできるようにする。

第3次では、情報カードをもとにして、自分の調べたことを新聞にまとめる。調べてわかったことだけでなく、そのことに対する自分の考えも書くように指導する。課題について自分が集めた情報を比較・検討しまとめることによって「一人一人の考える力を伸ばす」ことを大切に支援していきたい。

第4次では、各自新聞にまとめた内容を発表する。自分の調べたことや、友だちの発表を聞いてわかったことをもとに、みんなで「環境を守るくふう」をすることが大切であることに気づかせたい。情報を伝え合うことで、互いに考えを深め、高め合うことができるように配慮していきたい。そして、調べてわかったことが行動に結びつくようにするために、環境を守るために自分にできることを考えさせる。いつ、どのようなことを実践するか計画を立て、家族にも協力してもらって、実行できるようにさせたい。

5, 単元の指導計画および評価計画 (全 14 時間)

次	時	学習活動 ☆情報活用能力	評価 ☆情報活用能力	
一 つ か む	1 2	<p>○全員で「テーマ見つけチャート」を作成する。</p> <p>○自分の学習課題を見つける。</p> <p>☆課題の設定</p>	<p>☆「テーマ見つけチャート」の中から自分の調べたい課題を見つけることができる。</p> <p>☆自分の学習課題を文章で表すことができる。</p>	情報カード 行動観察
二 調 べ る	3 4 5 6 7 8 9	<p>○VTRを見て、インターネットを使った調べ学習の仕方を知る。</p> <p>○3年生と4年生の2人組でインターネットを使って検索をする。</p> <p>○一人でインターネットの検索をする。</p> <p>○情報活用の種類とよい点、注意しなければならない点についてまとめる。</p> <p>○パスファインダーをもとに、資料集めの計画を立てる。</p> <p>○必要な情報を集め、情報カードにまとめる。</p> <p>(本時)</p> <p>☆情報の収集</p>	<p>☆自分の課題にあった資料を探することができる。</p> <p>☆調べたことを分かりやすく情報カードにまとめようとしている。</p>	情報カード 行動観察
三 ま と め る	10 11 12	<p>○情報を整理し、新聞にまとめる。</p> <p>☆整理・分析</p>	<p>☆情報を整理し、まとめようとしている。</p> <p>☆情報に対しての自分の考えを持つことができる。</p>	新聞
四 伝 え 合 う	13 14	<p>○新聞に書いたことを発表する。</p> <p>○自分で調べたことや、友だちの発表を聞いたことをもとにして、環境に対しての自分の考えをワークシートに書く。</p> <p>○自分にできることを実践する。</p> <p>☆まとめ・表現</p>	<p>☆環境を守ることの大切さに気づくことができる。</p> <p>☆環境を守るために、自分ができることを考えて、実践することができる。</p>	ワークシート 発言

6, 本時の学習

(1) ねらい

自分の課題にあった資料を見つけ、情報カードにまとめることができる。

(2) 展開

学習活動	支援と評価☆
1, 情報カードの書き方についての説明を聞く。	○例を示して、確認する。 ○数値、図、表を入れると内容が分かりやすくなることを助言する。
2, いろいろなメディアを使って情報を調べ、情報カードにまとめる。	○本時に、だれがどのメディアを使って調べのかを明確にしておく。 ○各自国語辞典を準備しておき、自分が理解できる言葉で情報カードを書くように指導する。 ○指導者、学校図書館ボランティア ・・個別の資料リストや支援計画をもとに支援する。漢字の読み方について質問があれば支援する。 ○メディア主任 ・・パソコンの操作について支援する。 ☆情報カードにまとめることができたか。
3, 振り返りをする。	○「同じことが違う本に書いてあった」「前回と違うことがわかった」等を振り返らせる。

(3) 本時の具体的な評価

	十分満足できると判断される児童	おおむね満足できると判断される児童	努力を要すると判断される児童
関心意欲態度	自分の課題にあった資料を見つけ、要点を分かりやすくまとめてカードに書いている。	自分の課題にあった資料を見つけ、カードに書こうとしている。	意味のわからない言葉もそのまま抜き書きして、カードにまとめようとしている。

(4) 研究の視点

- ・課題にあった情報の収集をさせるための、資料集めは十分であったか。
- ・パスファインダーの作成は、資料を見つけるために有効であったか。
- ・情報カードの形式は、適切であったか。
- ・情報カードの使用は、資料をよく読み要点をまとめるために、適切であったか。